県内への企業立地に良

い影響を与えている」

スで回る企業誘致ツア

-を企画。

11月中旬に

通勤・物流魅力に

千葉県佐倉市)をバ

進出を決めた企業

(同若葉区

**アラインの料金引き下** 

分譲する「ちばリサ

三菱地所が所有・ (千葉市緑区)

圏央道や東京湾アク

県企業立地課は

「千葉土気緑の森工業

成田両空港、千葉港へ 別田・

ク」はいずれも都心か

助制度も順調。

件だった。

ラスの千葉市の補助制

進出を決めた企業も多

## 魅力増す



仮

る。

同社の長崎学取締

役執行役員は「時間を

読みやすい東関東自動

車道を使えば、

る。

3倍収容可能にな 作業車は既存の2 て新センターに集約す アで需要が伸びるとみ 車の集約センターがあ 浦市)に室内高所作業

(千葉県袖ケ

内にも移転する予定

転完了する見通し。

16年3月末に移

を大幅に拡張する。

年夏にも完成し、

ったが、今後関東エリ

な溶接ナットを製造す

た理由として「熟練工

同工業団地を選択

「千葉土気緑の森工業団地」内の 分譲中の土地の状況について話を

仮設脱水プラント

こめ、ちばリサーチパ置き場が手狭となった タルを手がけるセイス どの水処理設備系レン 市)もレンタル設備の る。約1万9000平 7工業(千葉県習志野 クに本社を移転す



と説明する。

時間通り供給できる」

ちばリサーチパーク内に完成した太田プレスの新工場

一方、製菓原料用各 を手がけるタバタ(千葉市若葉区)は、7年 で、土気の工業団地に でで、大木戸1Cが が良い。大木戸1Cが が良い。大木戸1Cが である」と交通インフラ の良さを挙げている。 の良さを挙げている。

補助・融資制度も整備 の絶好の機会をつかみ取るために、千葉市を中心に関係企業 業団地に千葉県内外の企業から熱い視線が注がれている。こ ・団体などが立地環境の優位性をアピールし、 都心や羽田・成田両空港に好アクセスな千葉市内の二つの工 などが、千葉県内への企業進出の追い風となっている。特に 間発着枠30万回化、 首都圈中央連絡自動車道(圏央道) 東京湾アクアラインの料金引き下げ継続 の延伸、 成田空港の年

千葉方面からの 通しだ。



の千葉県の工場立地件

を上回る可能性もあ 記録した14年度の3件 支援課)と過去最多を

参加した。

会社などから約30-

(電気業を除く)

る。

で13位だったものの

都3県の中では唯一

増の11件だった。全国

立地をさらに促進する

千葉市は好調な企業

の森工業団地」

部にある「千葉土気緑

の「ちばリサ

ーチパ

地動向調査によると、

大木戸『フルIC期待

環境をアピール県内工業団地や立地 A P A N 2

設備機械などを順次移 川下工程から 利点を感じている。

する。10月末に工場がリサーチパークに移転 ちば 

加え、現在の工場が手 花見川区)も老朽化に 狭となったため、 る太田プレス(千葉市

地」は千葉外房有料道 葉土気緑の森工業団 路の大木戸インターチ にある。9区画約24万 ェンジ (IC) 直近の の着手で調整してお られている。 み利用できるが、茂原 られている。本年度内になるよう検討が進め 年程度で利用できる見 方面からの利用も可能 とアクセスが良い。市 の佐倉ICから6世以 ク」も東関東自動車道

REE ME

工業地域並みの立地が 街化調整区域のため、 都市計画税が賦課され に緩和されている。 法地域準則条例の制定 可能。さらに工場立地 設定しているため、 により、緑地率が10% 地区計画を - を聞いてメリットを感ば比較的空きがあるのに提案したい」とビジに提案したい」とビジに提案したい」とビジに提案したい」とビジ

るような土地が千葉県 客から工場を新設でき らくる。土気は大木戸 いという要望が全国か にもないか探してほし 業団地を見学したNI こうした好立地のエ で、 「圏央道が延伸したこともあり、下調べを兼 なて参加した。取引先 なの情報提供の良い機 会になった」とし、千 て満足そうだった。

大葉市産業支援課の 高瀬大課長補佐は「初 の取り組みだったが参 の取り組みだったが参 のが一番。今後もこう た。現地を見てもらう た。現地を見てもらう

千萬県豫島





## 行政からの充実した支援

- 千葉県企業立地助成制度
  - 千葉県立地企業補助金
- 千葉市企業立地助成策 千葉市企業立地促進事業補助制度 (所有型•賃借型•累積投資型)
- 佐倉市企業立地助成策

佐倉市企業立地助成制度